

2025年度 事業報告書

（2025年4月1日～2026年3月31日）

一般社団法人 日本真空工業会（以下、JVIA）は、基本方針である定款第3条の「(JVIAの目的は)国民生活の向上に寄与するとともに会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」に則って活動を行った。

今年度は創立40周年を迎える節目の年である。新しい未来に向け「アクションプラン2027」を策定し、「社会的使命」と「会員の利益」の二つを機軸として、JVIAの「存在感のアップ」を具現化するべく、理事会、企画委員会、各専門委員会、ならびに関西支部を中心に活動を行った。

また、新たな取り組み等含め積極的な事業活動と会員勧誘活動を行った。

1. 2025年度のトピックス

- ・入会は正会員1社、賛助会員6社と昨年度に引き続き最高水準となった。
賛助会員から正会員への変更1社、退会は賛助会員1社。
- ・創立40周年記念事業の準備委員会「J40プロジェクト」の活動を推進した。
- ・海外視察ツアー（台湾、中国）を実施した。

2. JVIA 活動内容の詳細

1) 関西支部

- ・第39回定時総会・講演会・懇親会

6月11日（水） 於：アートホテル大阪ベイタワー

① 総会 出席会員数30名（出席16名、委任状14名）

② 講演会 大阪大学大学院 教授 桑原 裕司 様

「キララル分子と表面ナノ分光」

聴講者31名

懇親会 参加者35名

- ・秋季合同講演会（公益社団法人 日本表面真空学会（以下、JVSS）と 関西支部との共催）

9月11日（木） 於：アートホテル大阪ベイタワー

① 徳島大学 大学院 准教授 金井 純子 様

「ジェンダー視点から考える防災」

② 大阪公立大学 大学院 教授 定永 靖宗 様

「我が国における大気環境の現状と課題」

聴講者 38名

懇親会 参加者 35名

- ・若手社員交流会（7月4日、11月9日）

- ・見学会・学習会・懇親会

11月21日（金）

① 大阪大学ウルトラクリーンファシリティ見学

② セミナー「社会人のための税の知識」

講師：田淵 貴文 様（石井 徳 税理士事務所副所長）

参加者 20名

- ・KV会（11月参加者不足で中止）
- ・見学会『春の修養会 2026 in 関西』
 - 3月13日（金）於：草津市立市民交流プラザ フェリエ南草津
 - ① セミナー「相続など知っておきたい身近なこと」
司法書士 山本 陽子 様
 - ② 農業複合施設見学と体験 於：メタルビレッジ「湖と苺」
 - ③ 懇親会 参加者：女性16名、男性5名 計21名

2) J40プロジェクト（委員長：府川企画委員長）

下記3つのグループに分かれて活動した。

- ① 創立40周年記念講演会・祝賀会
 - 5月30日（金）
 - ・記念講演会 於：日本教育会館8F第一会議室
同志社大学 生命医科学部 特別客員教授 元村 有希子 様
「科学のミカタ～持続可能な社会に向けて～」
 - ・記念祝賀会 於：日本教育会館9F 喜山倶楽部
参加者238人
イベント：弦楽四重奏、過去写真スライドショー、歴代会長挨拶、変面ショー
- ② 真空ポケットブック改訂
3,000部発行、30周年号（2色刷り）⇒40周年号（カラー刷り）
- ③ 創立40周年記念誌
3,000部発行、30周年号（2色刷り）⇒40周年号（カラー刷り）

3) 企画委員会

- 2024年度JVIA表彰 表彰式 於：日本教育会館8F第一会議室
5月30日（金） 創立40周年記念講演会前に実施し、6件を表彰
- ・海外視察ツアー（台湾）
 - 9月8日（月）～10日（水）、参加者23名
 - 【視察先】ITRI（工業技術研究院）、TSMC 創新館、明新科技大学、SEMICON TAIWAN
- ・若手交流会（J-EAST）
 - 10月3日（金）、日本科学未来館（お台場）、参加者19名
- ・JVIA セミナー
 - ① 10月17日（金）、於：JVIA事務所同ビル10F会議室
講師：経済産業省「化審法の概要と最新の法規制動向について」
「外為法に基づく化学品の輸出入審査業務」
参加者30名
 - ② 11月20日（木）、中小企業のための安全保障貿易教育 於：JVIA事務所同ビル10F会議室
講師：野村耕二氏（CISTEC 安全保障貿易管理士）「輸出管理と米国の輸出管理規則」、
参加者26名
- ・会員連絡者会議
10月24日（金）

【説明会】経済産業省「半導体政策の動向」、【見学会】共同印刷㈱（茗荷谷）、【交流会】

参加者 35 名

- ・ Vacuum ビジネスマッチング 2025

12月4日（木）、ビジネスマッチングを目的に5社のプレゼンと交流会を実施。

参加者 41 社 94 名

- ・ 真空展 2025 参画（身近な真空調査小委員会）

12月3日（水）～5日（金）、主催者展示ブースにおいて、真空技術を広め会員事業機会拡大につながる活動として、「真空実験コーナー」「真空なんでも相談コーナー」を開設した。

- ・ 安全保障貿易管理説明会（SEAJ/JVIA 合同セミナー）

12月3日、講師 CISTEC（安全保障貿易情報センター）により、外為法と米国輸出管理規則（EAR）の違いや注意すべき点等についての説明会を Web にて開催した。受講者約 200 名

- ・ 賀詞交歓会 於：喜山倶楽部

1月22日（金）、参加者 179 名（昨年 154 名）

4) 教育委員会

幅広い産業の基盤技術である真空技術の維持・向上を図る目的で、本年度は下記の真空教育講座を実施した。

- ・ 「第3回 真空排気系計算コース実践編」 於：機械振興会館

4月14日（月）

講師 岡田繁信氏、受講者 26 名（定員 30 名）

- ・ 第30回真空ウォーキングコース（実習で体験する真空基礎講習会）

於：工学院大学八王子キャンパス

8月25日（月）～8月29日（金）、受講者 159 名（定員 160 名）

- ・ 「はじめて真空」「真空入門講座」 於：東京ビッグサイト

真空展においてリアル開催を実施した。

「はじめて真空」 受講者 25 名（3日間）、「真空入門講座」 受講者 69 名（3日間）

5) 出版委員会

- ・ 創立 40 周年記念誌

J40 プロジェクト活動の一環として、本誌の企画、インタビュー、査読、編集等を行った。発行は 3,000 部。中堅座談会（関東、関西）エキスパートインタビュー等。

- ・ 真空ジャーナル

JVIA の活動を広く会員各位および社会に公表するため、真空ジャーナルを年 3 回発行（毎回：1,100 部）した。No.193（10月号）は「環境活動報告 2025」合併号、No.194（1月号）では 2024 年度 JVIA 表彰の受賞製品を紹介した。

6) 規格標準委員会

ISO/TC112 で取り扱う真空技術に関わる国際規格の整備事業を JVSS とともに「規格標準合同検討委員会」として活動を行った。

- ・ 規格標準報告会 於：東京ビッグサイト

12月3日（水）10:15～12:00、真空展においてリアル開催を実施した。

テーマ「CVD、ALD プロセスと真空技術の国際規格動向」、聴講者 39 名（昨年 63 名）

・主な ISO 関連活動（ISO/TC112）

- (1) WG1 ISO/DIS 21360-4 ターボ分子ポンプの性能試験方法・・・40.60
- (2) WG1 ISO/WD 21360-7 蒸気駆動ポンプの性能試験方法・・・20.99
- (3) WG2 ISO/DIS 3567 真空計校正方法・・・40.60
- (4) WG2 ISO/DIS 27893 真空計の比較校正における不確かさ評価方法・・・40.60
- (5) WG3 ISO/DIS 3669 ナイフェッジフランジの形状及び寸法・・・40.60

・主な JIS 関連活動

- (1) JIS B 8329-1 真空ポンプの性能試験方法—第 1 部：共通試験方法
- (2) JIS B 8329-2 真空ポンプの性能試験方法—第 2 部：容積移送式真空ポンプの試験方法

・ISO/TC112 ミーティング

3月2日（月）～3月5日（木） スイス サンクトガレンで開催、JVIA より 1 名参加。

7) 技術フォーラム委員会

・真空フォーラム・シンポジウム 於：東京ビッグサイト

12月5日（金）、真空展においてテーマ「サステナブルな社会を宇宙から～宇宙開発・ビジネスの最前線～」として開催した。JVSS と合同にて企画、実施。聴講者 53 名。

・移動例会

3月5日（木）～6（金）、京都大学篠原教授研究室、島津製作所創業記念資料館訪問。

8) 統計委員会

・2024 年度の統計参加会社数は 43 社で、四半期ごとに受注・売上データを集計し年間で 4 回プレスリリースを実施した。四半期毎の国際統計事業は、日本（JVIA）、欧州（EVTA）の 2 団体と、米国の関連会社から真空コンポーネント製品の売上データの収集を行った。

・12月12日（金）20：00～21：30、ドイツが当番国となり国際統計会議（ISVT）を Web にて開催した。

2023 年度第 3 四半期より、米国（AVEM）が解散・離脱したため、今後の国際統計の在り方について議論した。

・統計の「産業分野別売上統計」（コンポーネント）の産業分類の見直しを行い、2025 年 1Q より新分類にて統計集計を行った。

9) 環境委員会

・環境活動報告書 2025

会員各社に環境活動調査を実施し、「環境活動報告書 2025」を真空ジャーナル 10 月号に合併号として掲載した。

・外部セミナー（JVIA セミナー） 於：JVIA 事務所 同ビル 10F 会議室

10月17日（金）、講師：経済産業省「化審法の概要と最新の法規制動向について」

「外為法に基づく化学品の輸出入審査業務」参加者 30 名

・環境トピックス「初心者向け環境法令 Basic 講座」 於：東京ビッグサイト

12月5日（金）、真空展において開催した。受講者 23 名

・SEAJ/JVIA 合同セミナー（環境教育講座）

1月29日（木）、通算 30 回目（SEAJ との合同では 18 回目）となるセミナーを Web にて配信し

た。受講者 109 名

- ・移動例会

3月19日（木）、サントリー山崎蒸溜所（大阪府三島郡）見学を実施。

10) 安全委員会

- ・作業安全教育講座 於：東京ビッグサイト

12月4日（木）、真空展において開催した。受講者 11名

- ・国内工場視察

1月29日（木）、造幣局（大阪府北区）を見学、参加者 12名

- ・安全教育講座 in 関西

1月30日（金）、日本電子株式会社 会議室にて開催した。受講者 11名

11) 展示会委員会

- ・「VACUUM2025 真空展」 於：東京ビッグサイト

12月3日（水）～12月5日（金）の展示会を企画・開催した。

展示会は日刊工業新聞社がイベント運営担当を行い、併設展と同時開催。

出展者 84社・団体、151小間（前年は78社・団体、148小間）

3日間の入場者 11,343名（2024年は10,213名）

- ・基調講演会

12月5日（金）、（一社）フュージョンエネルギー産業協議会 会長 小西 哲之 様
「フュージョンエネルギー産業の創出と真空工学」

- ・主催者ゾーン（40周年記念ゾーン）

① フュージョンエネルギー関連の官民（スタートアップ企業含む）11社・団体

② JVSS 大学・公的機関における最先端研究紹介コーナー

- ・V作戦の実施

上記2025真空展のために、真空展を活況にするためのプロジェクト（V作戦）を実施した。

V作戦では、企画展示場に、これまで展示していない真空を利用している新しい業種の展示を行い、集客+将来の出展者になってもらうことを期待し、各種データ分析等に基づき戦略を検討。主催者展示場に10小間程度の新しい業種（2025年度は核融合）のメーカーを誘致し出展してもらった。基調講演はその業種の著名人に依頼し、企画展示は新しい業界の今、将来、真空との関係性などを紹介した。

12) 事務局

会員会社とのコミュニケーション ⇒3) 企画委員会参照

- ・5月30日（金）、「定時社員総会」「JVIA表彰 表彰式」「創立40周年記念講演会」「記念祝賀会」開催

- ・10月24日（金）、「会員連絡者会議」開催

- ・12月4日（木）、「JVIA ビジネスマッチング2025」開催

- ・1月23日（金）、「賀詞交歓会」開催

JVSS（公益社団法人 日本表面真空学会）との協業

- ・規格標準合同検討委員会にてISO/TC112（真空技術）とJIS真空関連規格の作成活動を実施し

た。

- ・ VACUUM2025 真空展を共同主催で行った。
- ・ 技術フォーラム委員会は、JVSS と合同で真空フォーラムシンポジウムを企画した。
- ・ JVSS の委員会「産業連携・会員増強委員会」に専務理事が参画した。
- ・ 第 23 回真空技術者資格認定試験を行った。

内外関係機関等との交流および協力

- ・ 国内関連諸団体との情報交換やセミナー等の協力共同事業として、11 の団体の展示会、講演会に協賛名義許諾の発行を行った。
- ・ SJ 会ゴルフコンペ（SEAJ/JVIA 共同主催）を 2 回開催した。
 第 6 回 5 月 10 日（土）、東筑波カントリークラブ、参加者 24 名
 第 7 回 10 月 18 日（土）、富士の杜クラブ、参加者 24 名

経済産業省産業機械課との連携

- ・ 「生産性向上特別措置法案」に関わる証明書発行書業務を行い、今年度の発行件数は 30 件であった。

会員勧誘活動

- ・ 下記展示会に JVIA ブースを出展し、JVIA 紹介、新規会員募集を行った。
 SEMICON Japan 2025 12 月 17 日（水）～19 日（金）
- ・ 第 2 回九州半導体産業展（10 月 8 日～9 日）の協賛団体となった。

3. 事業報告の附属明細

1) 出版物

- ・ 「環境活動報告書 2025」－環境委員会

2) 会員移動

年度内の会員の移動は以下の通りである。

【会員数】

※：区分変更 1 社含む

会員区分	25. 3. 31 現在	入会(区分変更)	退会(区分変更)	26. 3. 31 現在
正会員	45	2 ※	0	47
賛助会員	63	6	2 ※	67
特別会員	13	0	0	13
計	121	8	2	127

会員区分	25. 3. 31 現在	入会	退会	26. 3. 31 現在
シニア会員	14	0	0	14

【入会】正会員：QUER 株式会社

賛助会員：Q' z 株式会社、MKN アルミニウム株式会社、
 キョーラクエンジニアリング株式会社、NOK クリューバー株式会社、
 株式会社矢作製作所、南国フレキ工業株式会社

【退会】賛助会員：メテクス株式会社

【区分変更】賛助会員⇒正会員：株式会社ヒラノ K&E

※事業報告書の内容を補足すべき重要事項はないので附属明細書は作成しない。

以 上